



GIANT KILLING 女子サッカー一部報告 GIANT KILLING

毎日ブログ更新!最新情報はこちらで!!
http://toin.sakura.ne.jp/

2011-2012 シーズンチームスローガン: 上位を破って勝ち上がる

～創部6年目、頂点まであと一歩～

全国大会準優勝

常盤木学園に1-3で惜敗

平成23年度第20回全日本高等学校女子サッカー選手権大会は7月23日から静岡県磐田市で行われ大阪桐蔭高校は決勝で常盤木学園(宮城)に1-3で敗れ準優勝となり、創部6年目にして全国頂点まであと一つに迫る快挙となった。1回戦で全国常連校福井工業大学附属福井高校を、2回戦も関東第2代表の宇都宮文星高校(栃木)を撃破し2年連続ベスト8入りを決めた。準々決勝で優勝経験のある神村学園(鹿児島)を、準決勝で十文字中学高校にともに延長の末破り初の決勝進出となった。一方常盤木学園は準々決勝で鳳凰高校(鹿児島)を8-2で破るなど、決勝まで4試合で得点33、失点2の驚異的な攻撃力で勝ち上がり決勝でも3得点をあげ2年ぶり4度目の優勝を飾った。

◇決勝戦(7月29日、ジュピロ磐田スタジアム)35分ハーフ(カッコは前半のスコア)
大阪桐蔭高校 1-3(1-1)常盤木学園(東北第1代表/宮城)

【得失点】11分常盤木学園京川、35分大阪桐蔭松川、38分常盤木学園仲田、59分常盤木学園道上

昨年は準々決勝で対戦し両チーム無得点で延長となり後半に失点し敗れた。さらに1月に行われた全日本女子ユース(U-18)でも3-4で競り負けた。大阪桐蔭は常盤木の京川、仲田をどう押さえるかがポイントだった。前半11分中盤でダイレクトパスを回されたあと左サイド京川に突破され先制点を許した。反撃に転じたがなかなかシュートまで持っていけない。しかし前半ロスタイムにゴール前のゆさぶりから松川が得点し追いついた。後半選手を3人入れ替えてきた常盤木への対応に戸惑い、3分大きなサイドチェンジのパスを正確にトラップした仲田に見事に決められ再びリードを許すと、24分にもエース道上にヘディング入れられ突き放された。

準々決勝、準決勝で延長戦を戦い常盤木の正確なパスワークに翻弄され後半は体力を消費させられた。あこがれの場所ヤマハスタジアムで試合ができ、全国のトップレベルのチームと公式戦で戦えた経験は大きい。

◇準決勝(7月27日、磐田市ゆめりあサッカー場)35分ハーフ
大阪桐蔭高校 2-2(2-2)延長 1-0(0-0)十文字中学高校(関東第3代表/東京)

【得失点】3分大阪桐蔭濱本、16分十文字元井、20分十文字横山、30分大阪桐蔭濱本、85分大阪桐蔭金井

十文字高校は過去2度3位入賞を果たしこの年代では日本を代表するストライカー横山久美(2010FIFAU-17女子ワールドカップ大会最優秀選手第2位、大会得点王第3位、この大会の北朝鮮戦であげた4人抜きゴールでメッシらとともにFIFA年間最優秀ゴール賞(ミネート)を有する。試合は早くも3分に濱本が先制点を挙げる。しかしすかさず反撃に出た十文字は16分にクロスボールが直接入るラッキーゴールで追いつくとさらに勢いを増し4分後に横山に強烈なゴールをたたき込まれた。大阪桐蔭は反撃し30分に再び濱本がGKの頭上を越すループシュートで追いついた。後半は両者決定機を作ることができず準々決勝に続いて延長となった。前半はやや大阪桐蔭が押し気味に進めながらお互い無得点、後半半分を過ぎPK戦かと思われた5分、右サイド岸川からのクロスを経由して金井がダイレクトで決め勝ち越した。劇的なゴールで初めてのファイナリストまで上り詰めた。

◇準々決勝(7月26日、磐田市ゆめりあ多目的グラウンド)35分ハーフ
大阪桐蔭高校 2-2(0-0)延長 1-0(1-0)神村学園高等学校(九州第1代表/鹿児島)

【得失点】41分大阪桐蔭松川、46分神村布志木、61分神村布施、68分大阪桐蔭泊、72分大阪桐蔭草野

「ジャイアントキリング」今年のチームスローガン。上位チームを破って勝ち上がる意味はこの試合のためにある。2度の優勝、4度の準優勝経験を持つ相手にどれだけ戦えるか非常に楽しみな試合だった。前半は両者無得点でこう着

した試合だった。しかし後半6分松川がゴールをあげると眠れる虎が目覚めたように反撃にあった。11分に同点にされ、26分に逆転された。残り3分となり敗戦を覚悟したが、松川からパスを受けた泊がダイレクトに放ったボールはキーパーの伸ばした手とポストの間を抜け追いついた。延長前半サイドバック草野が攻撃参加しドリブルで切り込み得意のゴールを突き刺した。残り時間猛攻を耐えジャイアントキリングを達成した。

◇2回戦(7月24日、磐田市陸上競技場)35分ハーフ

大阪桐蔭高等学校 3-0(2-0)宇都宮文星女子高等学校(関東第2代表/栃木)

【得失点】7分岸川、26分吉田、38分松川

関東第2代表とあって大いに警戒した。福井戦でセンターバック藤井が負傷し3バックで挑んだ。中盤に人数をかけたシステムが功を奏し岸川などの3得点で快勝した。

◇1回戦(7月23日、磐田市ゆめりあ多目的グラウンド)35分ハーフ

大阪桐蔭高等学校 3-0(1-0)福井工業大学附属福井高等学校(北信越第1代表/福井)

【得失点】32分泊、53分松川、70分+1分松川

全国大会常連校の相手とあって難しい試合となった。開始早々はお互い堅さがあった。32分泊の2列目からの飛び出しが見事に決まり先制、後半松川が右コーナーキックを直接入れ、さらにロスタイムに得点し引き離した。

エスパルスカップ

第1回エスパルスカップ高校女子サッカー大会が8月2日から静岡県清水市で行われ大阪桐蔭高校は3位となった。予選リーグは磐田北(静岡)、十文字(東京)、花咲徳栄(埼玉)、椛山(愛知)と対戦し3勝1分1位で通過、決勝トーナメント1回戦で作陽(岡山)に勝利し準決勝に進んだが福井高校に敗れ3位決定戦に回った。3位決定戦では広島ユースに1-0で勝った。

◇ 予選リーグ 2-1 磐田北、0-0 十文字、1-0 花咲徳栄、6-1 椛山女子

◇ 決勝トーナメント 1回戦 3-1 作陽、準決勝 0-0 PKO-1 福井、3位決定戦 1-0 広島ユース